

9. 福島市としての展開

9.1 調査事業の成果等についての情報発信

本調査事業において、地中熱や地下水熱といった再生可能エネルギー熱利用に向けたポテンシャルマップを作成し、福島大学構内における効率的な再生可能エネルギーの導入に向けた熱利用の提案及び評価を行った。

これを受け、福島市は、本調査事業において得られた成果を市のホームページ（[図-9.1](#)）を活用した情報発信を行い、市内事業者等へ再生可能エネルギー熱利用システムの導入に向けたノウハウを提供することで、事業者の再生可能エネルギー導入や研究・技術開発の促進を図る。



図-9.1 福島市ホームページ「再生可能エネルギーの情報発信と普及啓発」

9.2 「福島市次世代エネルギーパーク計画」への位置づけ検討

福島市は、再生可能エネルギー推進に向けた全市的な機運の醸成を図るため、「福島市次世代エネルギーパーク計画」(図-9.2)を活用した学習機会の拡充や普及啓発等を行っている。計画に位置づけている施設は、太陽光発電、小水力発電、地熱バイナリー発電、バイオマス発電と発電に関するものが主である。

今回の調査内容をもとに、福島大学構内において地中熱や地下水熱といった熱利用分野における再生可能エネルギー設備の整備がなされれば、大学構内という「区域」における熱利用のモデルとなり得ると考えられる。

こうしたことから、設備導入後は、熱分野のエネルギーにおける学習機会を提供できる施設として、市民等の学習機会拡充に資するべく、計画関連施設への追加を検討していく。

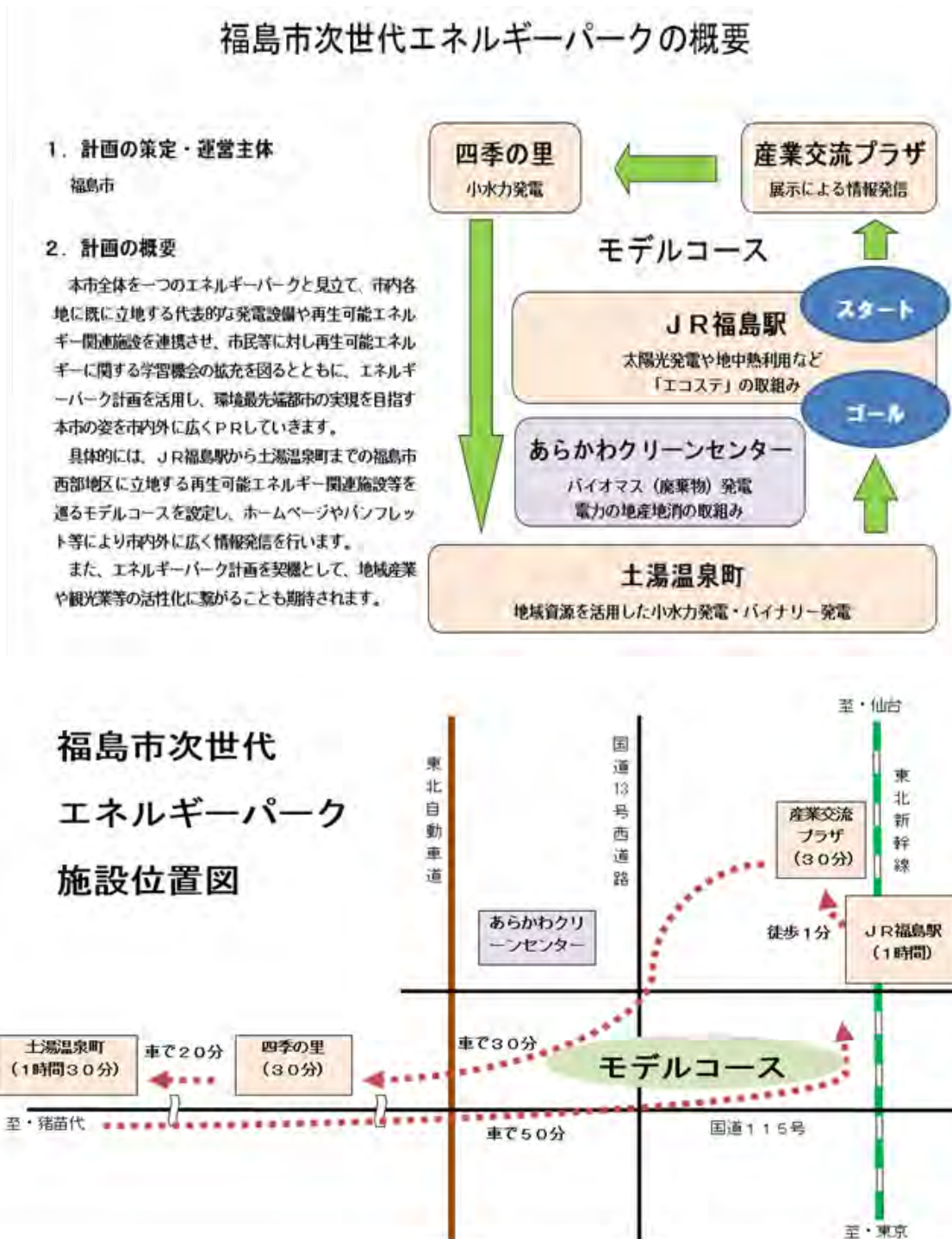


図-9.2 福島市次世代エネルギーパークの概要